



# **Acronis** True Image™ 2017

ユーザース ガイド

# 目次

<b>1 はじめに .....</b>	<b>5</b>
1.1 Acronis 3 True Image™ とは .....	5
1.2 このバージョンの新機能 .....	6
1.3 システム要件 .....	7
1.4 Acronis True Image 2017 のインストール、アップデート、アンインストール..	8
1.5 試用版情報 .....	9
1.6 Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム .....	10
1.7 Acronis へのご意見の送信 .....	11
1.8 テクニカル サポート .....	13
<b>2 バックアップ .....</b>	<b>14</b>
2.1 基本的な概念 .....	14
2.2 バックアップ可能な対象と不可能な対象 .....	16
2.3 ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ .....	17
2.4 Acronis Cloud へのバックアップ .....	19
2.5 認証バックアップ .....	21
2.5.1 ブロックチェーンテクノロジーの使用 .....	23
2.5.2 ファイルの信頼性の検証 .....	25
2.5.3 ファイルの信頼性の手動検証 .....	25
2.6 モバイルデバイスのバックアップ .....	27
2.6.1 モバイルデバイス対応 Acronis True Image .....	28
2.6.2 モバイルバックアップのローカルのバックアップ先 .....	29
2.7 スケジュール設定 .....	30
2.8 バックアップの暗号化 .....	31
2.9 バックアップ保持ルール .....	32
2.10 バックアップからの項目の除外 .....	32
2.11 バックアップのネットワーク設定 .....	35

2.12 Acronis Cloud とは .....	37
2.12.1 Acronis アカウントの作成 .....	37
2.12.2 Acronis Cloud のサブスクリプション .....	38
2.13 Parallels Desktop のサポート .....	39
2.14 バックアップリストアイコン .....	41
2.15 リスト内でのバックアップの並べ替え .....	42
<b>3 ブータブル レスキュー メディアの作成 .....</b>	<b>44</b>
<b>4 リカバリ .....</b>	<b>46</b>
4.1 Mac を復元するタイミング .....	46
4.2 Mac の復元 .....	47
4.2.1 Boot Camp パーティションに関する FAQ .....	49
4.3 ローカル バックアップからのファイルのリカバリ .....	50
4.4 Acronis Cloud からのファイルのリカバリ .....	51
4.5 バックアップの内容の検索 .....	53
<b>5 家族間のデータ保護 .....</b>	<b>55</b>
5.1 家族間のデータ保護とは .....	55
5.2 新しいデバイスの追加 .....	56
5.3 任意のコンピュータのバックアップ .....	56
5.4 オンラインダッシュボードでのデータの復元 .....	57
5.5 Facebook アカウントのバックアップ .....	57
5.6 Facebook アカウントの復元 .....	59
<b>6 データのアーカイブ .....</b>	<b>61</b>
6.1 データのアーカイブについて .....	61
6.2 アーカイブから除外されるもの .....	62
6.3 クラウドアーカイブとオンラインバックアップ .....	63
6.4 データのアーカイブ作成 .....	64
6.4.1 アーカイブのネットワーク設定 .....	66

6.4.2	アーカイブの暗号化 .....	67
6.5	アーカイブ済みファイルへのアクセス .....	67

# 1 はじめに

## In this section

Acronis 3 True Image™ とは.....	5
このバージョンの新機能.....	6
システム要件.....	7
Acronis True Image 2017 のインストール、アップデート、アンインストール8	
試用版情報.....	9
Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム.....	10
Acronis へのご意見の送信 .....	11
テクニカル サポート.....	13

## 1.1 Acronis 3 True Image™ とは

Acronis True Image 2017 とは、オペレーティング システム、アプリケーション、設定、すべてのデータなど、お使いの Mac の情報をすべて保護するアプリケーションです。Mac を保護するには、2 つの簡単な操作を実行する必要があります。

### 1. Mac の完全バックアップを作成する

この操作により、オペレーティング システムのファイルおよびすべてのデータが、バックアップというファイルに保存されます。このファイルはローカル ストレージやネットワーク ストレージに保存したり、Acronis Cloud にアップロードすることができます。詳細については、「ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ 『17ページ 』」および「Acronis Cloud へのバックアップ 『19ページ 』」を参照してください。

### 2. Acronis ブータブル メディアを作成する

これは、ブート ファイルが格納されているリムーバブル ドライブです。Mac が起動できなくなった場合は、このメディアによって、Acronis のリカバリ環境を起動し、バックアップを使用して、正常な状態に Mac をロールバックできます。詳細については、「ブータブルレスキューメディアの作成 『44ページ 』」を参照してください。

この 2 つの手順を実行することで、Mac OS X の修復、および見つからなくなったドキュメントのリカバリを数分で実行できるようになります。

#### 主な機能:

- 選択したディスクまたは Mac 全体の内容のローカル ストレージ、ネットワーク ストレージ 『17ページ』、または Acronis Cloud 『19ページ』 へのバックアップ
- 選択したファイルやフォルダのローカルストレージやネットワークストレージ 『17ページ』 または Acronis Cloud 『19ページ』 へのバックアップ
- データアーカイブ 『61ページ』
- 複数デバイスのデータ保護 『55ページ』
- ブータブル レスキュー メディアの作成 『44ページ』
- ブータブル メディア環境での Mac OS X のリカバリ 『47ページ』
- Mac OS X の特定のファイルおよびフォルダのリカバリ 『50ページ』

## 1.2 このバージョンの新機能

- **macOS Sierra のサポート** — 最新バージョンの OS X が実行されている Mac に Acronis True Image 2017 をインストールして、バックアップできるようになりました。
- **ブロックチェーン技術によるファイルの非改ざん性の証明** (Premium サブスクリプションでのみ利用可能) — Acronis True Image 2017 はブロックチェーン技術を使用することでバックアップファイル用にトップレベルのセキュリティを保証します。このテクノロジーにより、ファイルが不正ソフトウェアによって変更されていないこと、および復元時に正しいバックアップファイルからデータを復元できることが保証されます。
- **モバイルデバイスのローカルストレージへのバックアップ**: iOS または Android のスマートフォンやタブレットがある場合、写真、ビデオファイル、連絡先、カレンダーなどのモバイルデータを保護できます。Acronis Cloud のほか、コンピュータ上のローカルストレージにモバイルバックアップを保存できるようになりました。この操作を行うには、コンピュータに Acronis True Image 2017 がインストールされていて、かつ、モバイルデバイスに Acronis True Image モバイルアプリがインストールされている必要があります。

- **NAS デバイスの自動検出** — ホームネットワークで NAS を使用している場合、Acronis True Image 2017 がこれを検出し、このデバイスへのバックアップまたはアーカイブを提案します。
- **モバイルバックアップの暗号化** — モバイルバックアップを作成する前に、バックアップ暗号化オプションを有効にしてパスワードでバックアップを保護できます。このオプションは、ローカルとクラウドの両方のモバイルバックアップタイプで使用できます。
- **Acronis Cloud の個別の有効化** — Acronis True Image 2017 では、Acronis Cloud は自動的に有効化されず、ユーザーがクラウドにバックアップするなどして意図的に使い始めるまで完全にオフのままです。
- **Facebook バックアップの暗号化** — Facebook データのバックアップを暗号化してパスワードで保護できるようになりました。

## 1.3 システム要件

### サポートされるオペレーティング システム:

- OS X Mavericks 10.9.5
- OS X Yosemite 10.10.5
- OS X El Capitan 10.11.6+
- macOS Sierra 10.12

### サポートされるファイル システム:

- Mac OS の拡張フォーマット（大文字と小文字は区別されません）
- FAT32
- exFAT
- NTFS（読み取り専用）

---

NTFS ファイル システムではディスクにデータをバックアップできません。ただし、この種類のファイル システムに存在するバックアップからデータをリカバリすることはできます。

---

### Acronis ブータブル メディアの要件:

- ブータブル メディアを作成する場合、4 GB（またはそれ以上）の空き容量があるリムーバブル ドライブを使用できます。

- CD および DVD メディアはサポートされていません。

#### **サポートされるストレージ メディア:**

- 内蔵ドライブ (HDD、SSD、RAID)
- USB ドライブ
- FireWire ドライブ
- Thunderbolt
- ネットワーク共有、NAS
- Acronis Cloud

#### **一般的な要件:**

- Acronis True Image 2017 を実行するための管理者権限が必要になります。

## 1.4 Acronis True Image 2017 のインストール、アップデート、アンインストール

### **インストール**

**Acronis True Image 2017 をインストールする手順は、次のとおりです。**

1. Acronis ウェブサイトから Acronis True Image 2017 セットアップ ファイルをダウンロードします。
  - 製品版を購入する場合は、次のサイトにアクセスしてください。  
[www.acronis.com/redirector/products/timac2017/getfullversion/](http://www.acronis.com/redirector/products/timac2017/getfullversion/)
  - 無料の試用版を試す場合は、次のサイトにアクセスしてください。  
[www.acronis.com/redirector/products/timac2017/getfreetrial/](http://www.acronis.com/redirector/products/timac2017/getfreetrial/)
2. 使用許諾契約の条件および Acronis カスタマエクスペリエンスプログラムの内容を読み、承諾します。



3. Acronis True Image 2017 のセットアップファイル（ファイルの拡張子は.dmg）をダブルクリックします。



4. アプリケーションフォルダに Acronis True Image 2017 アイコンをドラッグします。

初めて Acronis True Image 2017 を起動する場合は、プロダクトキーを入力する必要があります。プロダクトキーがない場合は、製品の試用版を起動します。

## アップデート

Acronis True Image 2017 では、Acronis ウェブサイトでアップデートが利用できる場合、自動的に通知されます。アップデートをダウンロードし、お使いの Acronis True Image 2017 のバージョンを上書きしてインストールできます。バックアップおよび設定はすべて保持されます。

## アンインストール

**Mac から Acronis True Image 2017 をアンインストールするには、次の手順を実行します。**

1. Finder を開き、**[アプリケーション]** をクリックします。
2. 一覧から Acronis True Image 2017 を探し、ゴミ箱にドラッグします。

## 1.5 試用版情報

Acronis True Image 2017 を初めて試用し、評価する場合は、製品の 30 日間の無償試用版をインストールすることができます。試用版ではすべての機能を使用できます。試用期間

後、プログラムの機能がブロックされるため、引き続き Acronis True Image 2017 を使用するには製品版にアップグレードする必要があります。

試用期間が終了した後、バックアップは削除されず、Acronis True Image 2017 の製品版でリカバリする際に使用できます。

## Acronis Cloud

試用期間中、クラウドのストレージ容量は 1,000 GB になります。この容量を使用してオンライン バックアップを保存できます。試用期間終了後 30 日間、Acronis Cloud はリカバリ専用モードで動作します。この期間が過ぎると Acronis Cloud サービスは利用できなくなり、データはすべて削除されます。

## 試用版のインストール

試用版の使用を開始するには、製品をインストールして、**[試用を開始]** をクリックします。詳細については、「Acronis True Image 2017 のインストール、アップデート、アンインストール 『8ページ 』」を参照してください。

## 製品版にアップグレード

**製品版にアップグレードする手順は、次のとおりです。**

1. 次の Acronis ウェブサイトで製品版を購入します:  
[www.acronis.com/redirector/products/timac2017/getfullversion/](http://www.acronis.com/redirector/products/timac2017/getfullversion/)
2. Acronis True Image 2017 を起動します。
3. メニュー バーで **[Acronis True Image 2017]**、**[プロダクト キーを入力]** の順にクリックします。
4. 該当するボックスに完全なプロダクト キーを入力して、**[実行]** をクリックします。

## 1.6 Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム

Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム (CEP) は、Acronis のお客様が、Acronis 製品の機能、設計、および開発に貢献できる新しい手段です。このプログラムにより、お客様は、ホスト コンピュータや仮想マシンのハードウェア構成、使用頻度が最も多い（および少ない）機能、発生する問題の性質に関する情報など、さまざまな情報を提供できます。こ

の情報を基にして、お客様が頻繁に使用する Acronis 製品と機能を向上させることができます。

いずれかを選択してください。

1. **Acronis True Image** メニューの **[Acronis True Image のバージョン情報]** をクリックします。
2. プログラムへの参加をやめるには、**[Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムに参加する]** のチェックボックスをオフにします。

このプログラムへの参加を選択した場合、技術的な情報が毎週、自動的に収集されます。氏名、住所、電話番号、キーボード入力などの個人データは収集されません。CEP への参加は任意ですが、お客様のニーズをいっそう満たすために、ソフトウェアの改善と拡張された機能を提供することを最終的な目的としています。

## 1.7 Acronis へのご意見の送信

Acronis では、製品やサービスの機能、信頼性、速度のさらなる向上を重ね、継続的な改善を実施しています。フィードバック フォームから、解決すべき不便な点や問題点をお寄せいただくことができます。いただいたご意見をもとに Acronis True Image 2017 を改善いたします。お手数ではございますが、製品へのご意見、新機能のご要望、問題のご報告などをぜひお知らせください。ご意見や問題の内容については必ず確認し、分析いたします。

---

ただし、すべてのご意見や問題に回答できるとは限らないことをご了承ください。Acronis True Image 2017 に関してサポートが必要な場合は、テクニカルサポート 『13ページ』までご連絡ください。

---

**Acronis にご意見を送信するには、次の操作を実行します。**

1. **Acronis True Image 2017** のメニューにある **【フィードバックの送信】** をクリックします。フィードバック フォームが開きます。



2. リストからご意見の内容を選択します。
3. 本文を入力します。
4. 名前と電子メール アドレスを入力します。
5. (オプションの手順) デフォルトでは、Acronis True Image 2017 はコンソールウィンドウのスクリーンショットを添付します。問題を調査したり意見を把握する際に不要と思われる場合は、削除してもかまいません。
6. (オプションの手順) ファイルや Acronis システム レポートを添付することもできます。

Acronis システム レポートには、さまざまな技術的な情報 (ハードウェアの設定、OS X のバージョン、システム ログ、Acronis True Image 2017 のイベント ログ、バックアップの設定) が含まれています。

注意: Acronis システムレポートには、氏名、住所、電話番号、キーボード入力などの個人データは含まれていません。

Acronis True Image 2017 で応答が停止した場合など、重大なエラーが発生した場合は、システム レポートを添付することをお勧めいたします。

7. **[送信]** をクリックします。

## 1.8 テクニカル サポート

### メンテナンスとサポート プログラム

Acronis 製品に関してご質問がある場合は、<http://www.acronis.com/support/> にアクセスしてください。

### 製品の更新

**アカウント** (<http://www.acronis.com/my>) にログインして製品を登録すると、登録したすべての Acronis ソフトウェア製品の最新のアップデートをいつでもウェブサイトからダウンロードできるようになります。詳細については、「**Registering Acronis Products at the Web Site (ウェブサイトでアクロニス製品を登録する)**」 (<http://kb.acronis.com/content/4834>) および「**Acronis Web Site User Guide (Acronis ウェブサイト ユーザー ガイド)**」 (<http://kb.acronis.com/content/8128>) を参照してください。

## 2 バックアップ

### In this section

基本的な概念 .....	14
バックアップ可能な対象と不可能な対象.....	16
ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ .....	17
Acronis Cloud へのバックアップ .....	19
認証バックアップ .....	21
モバイルデバイスのバックアップ .....	27
スケジュール設定 .....	30
バックアップの暗号化 .....	31
バックアップ保持ルール.....	32
バックアップからの項目の除外 .....	32
バックアップのネットワーク設定 .....	35
Acronis Cloud とは.....	37
Parallels Desktop のサポート .....	39
バックアップリストアイコン .....	41
リスト内でのバックアップの並べ替え .....	42

### 2.1 基本的な概念

#### バックアップとリカバリ

**バックアップ**とは、元のデータが失われてもそのコピーから**リカバリ**できるように、データのコピーを作成しておくことです。

バックアップの主な目的は 2 つあります。

- 1 つは、オペレーティング システムが損傷した場合や起動しない場合に、OS をリカバリする 『47ページ』 という目的です。この処理を災害復旧といいます。災害からの Mac の保護の詳細については、「ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ 『17ページ』」、および「Acronis Cloud へのバックアップ 『19ページ』」を参照してください。

- もう 1 つは、ファイルやフォルダが誤って削除されたり損傷した後に、特定のファイルやフォルダをリカバリする 『50ページ』 という目的です。

#### 復元方法:

- **[完全リカバリ]:** 元の場所または新しい場所に対してこれを実行できます。

元の場所を選択した場合、その場所にあるデータはバックアップデータによって完全に上書きされます。新しい場所の場合、バックアップから新しい場所にデータが単にコピーされるだけです。

- **増分リカバリ:** これは元の場所に対してのみ、クラウドバックアップからのみ実行されます。復元（リカバリ）が開始する前に、元の場所にあるファイルとバックアップファイルとの間でファイル属性（ファイルサイズ、最終更新日など）が比較されます。一致しないファイルは復元対象となり、残りのファイルは復元時にスキップされます。このように、完全リカバリとは対照的に、変更されたファイルだけが Acronis True Image によって復元されます。この方法で復元時間が大幅に減り、Acronis Cloud から復元するときのインターネットトラフィックが節約されます。

## バックアップ バージョン

バックアップバージョンは、バックアップの処理中に作成されます。各バージョンはそれぞれ特定の時点を表しており、その時点の状態にシステムやデータを復元することができます。最初のバックアップ バージョンには、バックアップ対象として選択したすべてのデータが含まれます。2 回目以降のバージョンでは、以前のバックアップ バージョンから変更が加えられたデータのみが含まれるようになります。バックアップバージョンはすべて、1 つのバックアップファイルに保存されます。

## バックアップ ファイルの形式

Acronis True Image 2017 では、ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージに Mac をバックアップすると、バックアップ データが独自の .tib 形式に圧縮されて保存されます。.tib ファイルのバックアップのデータは、Acronis True Image 2017 を使用した場合にのみリカバリできます。

Acronis Cloud 『37ページ』 に Mac をバックアップする場合、Acronis True Image 2017 はデータを「現状のまま」保存します。Mac コンピュータであれば、Acronis Cloud

ウェブ アプリケーション 『37ページ』を開いて、データをリカバリすることができます。

## スケジュール作成

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があります。バックアップを定期的に行うには、バックアップのスケジュールを作成します 『30ページ』。

## バックアップ保持ルール

手動またはスケジュールでバックアップ処理が実行されるたびに、Acronis True Image 2017 ではバックアップの保存先に新しいバックアップ バージョンが作成されます。使用しなくなったバックアップバージョンを自動的に削除するため、バックアップ保持ルールを設定できます。詳細については、「バックアップ保持ルール 『32ページ』」を参照してください。

## 2.2 バックアップ可能な対象と不可能な対象

バックアップが可能な対象と不可能な対象は次の表のとおりです。

	バックアップの保存先							
	内蔵ドライブ (HDD、SSD、RAID)	Acronis Cloud	USB ドライブ	Thunderbolt	AirPort Time Capsule	ネットワーク共有、NAS	CD、DVD	FTP サーバー
内蔵ドライブ (HDD、SSD)	+	+	+	+	+	+	-	-
USB ドライブ	+	+	+	+	+	+	-	-
FireWire ドライブ	+	+	+	+	+	+	-	-
Thunderbolt	+	+	+	+	+	+	-	-
Fusion Drive	+	+	+	+	+	+	-	-



FileVault 2 で保護されているハードドライブ	+	+	+	+	+	+	-	-
Boot Camp がインストールされているハードドライブ	+	+	+	+	+	+	-	-
特定のファイル	+	+	+	+	+	+	-	-
個別のパーティション	-	-	-	-	-	-	-	-
RAID、Apple RAID	-	-	-	-	-	-	-	-
CD、DVD	-	-	-	-	-	-	-	-
APM ディスク	-	-	-	-	-	-	-	-

## 2.3 ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ

ローカルストレージまたはネットワークストレージにデータをバックアップするには、次の手順を実行します。

1. Acronis True Image 2017 を起動します。
2. 次のいずれかを実行します。
  - 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。
  - バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップリストの下にある **[バックアップの追加]** をクリックします。

---

注意: バックアップを削除するには、そのバックアップを右クリックして **[削除]** をクリックします。バックアップがリストから削除され、バックアップファイルがバックアップストレージから削除されます。

---

3. バックアップ対象のアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。
  - ディスク
  - ファイルとフォルダ

- NAS デバイス（存在する場合）



4. バックアップの保存先のアイコンをクリックし、バックアップファイルを保存する場所を選択して、**[OK]** をクリックします。保存場所が一覧に表示されない場合は、**[参照]** をクリックして場所を選択します。

NAS デバイスがある場合は、自動的に検出され、その他の保存場所と一緒に表示されます。

5. （オプションの手順）設定を追加します。次の操作を実行できます。

- 手動でファイルやフォルダを除外するには、**[設定]** → **[除外]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『32ページ 』」を参照してください。
- バックアップスケジュールを設定するには、**[設定]** → **[スケジュール]** の順にクリックします。詳細については、「スケジュール設定 『30ページ 』」を参照してください。
- バックアップ保持ルールを設定するには、**[設定]** → **[クリーンアップ]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップ保持ルール 『32ページ 』」を参照してください。

- パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、**[設定]** → **[暗号化]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップの暗号化 『31ページ 』」を参照してください。

6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたなら、**[バックアップ]** をクリックします。

Acronis True Image バックアップから Mac を復元するには、Acronis ブータブルメディアが必要になります。まだ用意していない場合は作成してください。詳細については、「ブータブルレスキューメディアの作成 『44ページ 』」を参照してください。

## 2.4 Acronis Cloud へのバックアップ

Acronis Cloud の使用を開始する手順は、次のとおりです。

- アカウントがない場合は、Acronis アカウントを作成します 『37ページ 』。
- Acronis Cloud サービスにサブスクライブします 『38ページ 』。

**Acronis Cloud に Mac をバックアップする手順は、次のとおりです。**

1. Acronis True Image 2017 を起動します。

2. 次のいずれかを実行します。

- 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。
- バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップリストの下にある **[+]** アイコンをクリックします。

---

注意:バックアップを削除するには、そのバックアップを右クリックして **[削除]** をクリックします。バックアップがリストから削除され、バックアップファイルがバックアップストレージから削除されます。

---

3. バックアップ対象のアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。

- ディスク
- ファイルとフォルダ

- NAS デバイス（存在する場合）



4. [バックアップの保存先] アイコンをクリックし、Acronis Cloud を選択して、**[OK]** をクリックします。

まだサインインしていない場合は、Acronis マイ アカウントの電子メール アドレスとパスワードを入力し、**[サインイン]** をクリックします。

Acronis アカウントがない場合は、**[アカウントの作成]** をクリックして電子メール アドレスとパスワードを入力し、**[アカウントの作成]** ボタンをクリックします。詳細については、「Acronis アカウントの作成 『37ページ 』」を参照してください。

5. （オプションの手順）設定を追加します。次の操作を実行できます。

- サードパーティ製のサービスを利用している場合は、サービスで保護されているデータを除外できます。**[バックアップの最適化]** をクリックして、除外するデータを指定します。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『32ページ 』」を参照してください。
- 手動でファイルやフォルダを除外するには、**[設定]** → **[除外]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『32ページ 』」を参照してください。

- バックアップ スケジュールを設定するには、**[設定]** → **[スケジュール]** の順にクリックします。詳細については、「スケジュール設定 『30ページ 』」を参照してください。
  - バックアップ保持ルールを設定するには、**[設定]** → **[クリーンアップ]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップ保持ルール 『32ページ 』」を参照してください。
  - パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、**[設定]** → **[暗号化]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップの暗号化 『31ページ 』」を参照してください。
  - 特定のデータセンターを選択し、アップロード速度を設定するには、**[設定]** → **[ネットワーク]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップのネットワーク設定 『35ページ 』」を参照してください。
6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたなら、**[バックアップ]** をクリックします。

---

最初のオンライン バックアップは、完了するまでにかなりの時間を要することがあります。以降のバックアップ処理は、ファイルに対する変更のみが転送されるので、大幅に速くなります。

---

Acronis True Image バックアップから Mac をリカバリするには、Acronis ブータブルメディアが必要になります。まだ用意していない場合は作成してください。詳細については、「ブータブル レスキュー メディアの作成 『44ページ 』」を参照してください。

## 2.5 認証バックアップ

Acronis True Image 2017 は、ブロックチェーンテクノロジーを使用してファイルを不正な変更から保護できます。これにより、正しいバックアップファイルからデータを復元できることが保証されます。法律文書など信頼性の証明が求められるファイルは、このタイプのバックアップを使用して保護することをおすすめします。詳細については、「ブロックチェーンテクノロジーの使用 『23ページ 』」を参照してください。

### ファイルとフォルダの認証バックアップを作成する手順:

1. Acronis True Image 2017 を起動します。
2. 次のいずれかを実行します。

- 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。
- バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップリストの下にある **【バックアップの追加】** をクリックします。

注意:バックアップを削除するには、そのバックアップを右クリックして **【削除】** をクリックします。バックアップがリストから削除され、バックアップファイルがバックアップストレージから削除されます。

3. **【バックアップ対象】** アイコンをクリックし、**【認証バックアップ】** をクリックして、バックアップするファイルとフォルダを選択します。



4. バックアップの保存先のアイコンをクリックし、バックアップファイルを保存する場所を選択して、**【OK】** をクリックします。保存場所が一覧に表示されない場合は、**【参照】** をクリックして場所を選択します。

NAS デバイスがある場合は、自動的に検出され、その他の保存場所と一緒に表示されます。

5. (オプションの手順) 設定を追加します。次の操作を実行できます。
  - 手動でファイルやフォルダを除外するには、**【設定】** → **【除外】** の順にクリックします。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『32ページ』」を参照してください。

デジタル署名のあるファイルをバックアップから除外するには、**[デジタル署名されたファイルは認証しない]** チェックボックスをオンにします。詳細については、「バックアップからの項目の除外 『32ページ 』」を参照してください。

- バックアップ スケジュールを設定するには、**[設定]** → **[スケジュール]** の順にクリックします。詳細については、「スケジュール設定 『30ページ 』」を参照してください。
- バックアップ保持ルールを設定するには、**[設定]** → **[クリーンアップ]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップ保持ルール 『32ページ 』」を参照してください。
- パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、**[設定]** → **[暗号化]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップの暗号化 『31ページ 』」を参照してください。
- 特定のデータセンターを選択し、アップロード速度を設定するには、**[設定]** → **[ネットワーク]** の順にクリックします。詳細については、「バックアップのネットワーク設定 『35ページ 』」を参照してください。

6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたなら、**[バックアップ]** をクリックします。

### 2.5.1 ブロックチェーンテクノロジーの使用

Acronis True Image 2017 は、ブロックチェーンテクノロジーを使用してバックアップファイルをトップレベルのセキュリティで保護します。このテクノロジーにより、ファイルが不正ソフトウェアによって変更されていないこと、および復元時に正しいバックアップファイルからデータを復元できることが保証されます。

#### ブロックチェーンとは

ブロックチェーンは、トランザクションとそのシーケンスに関する情報を格納するデータベースです。一般に、トランザクションは財務処理や各種資産の処理などに関するイベントを意味します。トランザクションはブロックにまとめられ、ブロックがデータベースに 1 つずつ書き込まれ、ブロックチェーンを形成します。すべてのトランザクションとすべてのブロックに一意的識別番号が割り振られています。どのブロックにもチェーンの以前のブロックすべての情報が格納されていることが重要です。データベースに書き込まれたトランザクシ

ョン情報は、誰もいかなる手段でも変更できません。同じくトランザクションシーケンスも変更できません。データベース内の情報を変更しようとしても、任意のデータベースユーザーによって簡単に見破られます。これは、正しくないトランザクションやブロックに関する情報がそれ以降のどのブロックにも存在しないためです。このテクノロジーにより、データベースに格納されているデータが正当で、特定の人物に属しており、誰にも変更されていないことが保証されます。ブロックチェーンの詳細については、  
[https://en.wikipedia.org/wiki/Blockchain\\_\(database\)](https://en.wikipedia.org/wiki/Blockchain_(database))を参照してください。

## Acronis True Image 2017によるブロックチェーンテクノロジーの使用方法

不正な変更からファイルを保護するため、Acronis True Image 2017 は Acronis 認証テクノロジーを使用します。これは、任意のデータオブジェクトおよびデータストリームにタイムスタンプとフィンガープリントを付けるための汎用ソリューションです。大量のデータをブロックチェーンデータベースに格納できないため、Acronis True Image 2017 はファイルのハッシュコードだけを Acronis 認証サービスに送ります。

ハッシュコードは、ハッシュ関数によって生成される固定サイズの一意の番号です。このコードは、バックアップファイルなどの任意のデータセットを数学的に定義します。バックアップファイルを変更すると、そのハッシュコードも変更されます。したがって、ファイルが変更されているかどうかを確認する場合、最初に生成されたハッシュコードとファイルの現在の状態を比較するだけで済みます。コードが一致した場合、ファイルが誰にも変更されていないことが保証されます。

Acronis 認証は、ファイルのハッシュコードを受け取ると、新しい1つのハッシュコードを計算し、ブロックチェーンベースのイーサリアムデータベースにそのハッシュコードを送ります。イーサリアムの詳細については、<https://www.ethereum.org/>を参照してください。

ハッシュコードがデータベースに送られると、そのハッシュコードを計算するために使用したファイルが、Acronis 認証によって認証されます。「ファイルの信頼性の検証 『25ページ』」で説明されている手順に従うと、ファイルの信頼性をいつでも簡単に検証できます。すべての認証されたファイルには、認証証明書があります。認証証明書は、ファイルがブロックチェーンテクノロジーによって保護されていることの文書による証明です。証明書には、ファイルに関する一般的な情報と、ファイルの信頼性を手動で検証するために利用できる技術



的な詳細が含まれています。詳細については、「ファイルの信頼性の手動検証 『25ページ 』」を参照してください。

## 2.5.2 ファイルの信頼性の検証

Acronis True Image 2017 は、ブロックチェーンテクノロジーを使用してバックアップファイルを不正な変更から保護できます。これにより、正しいバックアップファイルからデータを復元できることが保証されます。

### ファイルの信頼性を検証する手順:

1. Acronis True Image 2017 を起動します。
2. サイドバーで **[バックアップ]** をクリックします。
3. バックアップリストから、復元するファイルを含む認証バックアップを選択します。
4. 右側のパネルで、**[ファイルの復元]** をクリックします。
5. バックアップロケーションに応じて次の手順を実行します。
  - ローカルバックアップの場合は、必要なファイルを参照し、矢印アイコンをクリックして次のいずれかをクリックします。
    - **[認証の確認]** — ファイルセキュリティに関する詳細情報を含む証明書がウェブブラウザで表示されます。
    - **[検証]** — Acronis True Image 2017 はファイルの信頼性を検証します。
  - クラウドバックアップの場合は、Acronis Cloud ウェブアプリケーションが表示されます。**[ファイル]** タブで必要なファイルを参照し、ファイル名をポイントして **[認証の確認]** アイコンまたは **[検証]** アイコンをクリックします。上記のコマンドの説明を参照してください。

## 2.5.3 ファイルの信頼性の手動検証

ファイルの信頼性を検証する最も簡単な方法は、Acronis True Image 2017 または Acronis Cloud ウェブアプリケーションの **[検証]** コマンドを使用することです。詳細については、「ファイルの信頼性の検証 『25ページ 』」を参照してください。この簡単な方法に加え、ユーザーが自分で検証手順を段階的に実行することもできます。

### ファイルの信頼性を手動で検証する手順:

## 手順 1. ファイルの MD5 ハッシュを計算する

1. ターミナルを開きます。
2. たとえば、picture.png ファイルの md5 ハッシュを計算するには、次のように入力します。

```
$ md5 'picture.png'
```

md5 ハッシュの例: eea16ade1edf2750a46bb6bffb2e45a2

3. 計算した md5 ハッシュが認証証明書のデータフィールドの eTag に一致することを確認します。ファイル証明書の取得の詳細については、「ファイルの信頼性の検証 『25ページ』」を参照してください。

## 手順 2. データフィールドの JSON をコピーしてファイルに貼り付け、スペースと改行をすべて削除してファイルを保存します（例: my.json）

元の JSON の例:

```
{
  "eTag": "eea16ade1edf2750a46bb6bffb2e45a2",
  "key": "picture.png",
  "sequencer": "9223372036854775100",
  "size": 181960
}
```

変更後の同じ JSON:

```
{"eTag": "eea16ade1edf2750a46bb6bffb2e45a2", "key": "picture.png", "sequencer": "9223372036854775100", "size": 181960}
```

## 手順 3. 手順 2 で作成したファイルの SHA-2 を計算する

1. ターミナルで、.json ファイルの SHA-2 を計算します。  
たとえば、my.json ファイルの場合は、次のように入力します。

```
$ shasum -a 256 my.json
```

SHA-2 ハッシュの例:

02428c202e7b74a4e531347b6482e5f6f65fd4a437b365ccfba8e4cc573a9e16

2. 計算した SHA-2 ハッシュが認証証明書のハッシュフィールドの値に一致することを確認します。

## 手順 4. サードパーティサービスを使ってイーサリアムコントラクトのデータを確認する

1. 任意のサードパーティサービスを使用できます。たとえば、<https://etherscan.io/>にアクセスし、証明書のトランザクション ID を検索フィールドに入力します。

2. 検索結果の入力データが認証証明書のマークルパトリシアルートフィールドに一致することを確認します。

## 2.6 モバイルデバイスのバックアップ

iOSまたはAndroidのスマートフォンやタブレットがある場合、Acronis True Image 2017を使用して、写真、ビデオファイル、連絡先、カレンダーなどのモバイルデータを保護できます。詳細については、「モバイルデバイス対応 Acronis True Image 『28ページ』」を参照してください。

### コンピュータ上のローカルストレージにモバイルデータをバックアップする手順:

1. 次を確認してください。
  - Acronis True Image 2017 以降のバージョンがコンピュータにインストールされている。
  - Acronis True Image モバイルアプリがモバイルデバイスにインストールされている。
  - モバイルデバイスとコンピュータが同一の Wi-Fi ネットワークに接続している。
2. コンピュータで次の手順を実行します。
  1. Acronis True Image 2017 を起動します。
  2. サイドバーの **[ダッシュボード]** をクリックし、**[デバイスの接続]** をクリックします。  
QR コードが表示されます。このウィンドウは閉じないでください。
3. モバイルデバイスで次の手順を実行します。
  1. Acronis True Image を起動します。
  2. **[コンピュータにバックアップ]** をタップします。
  3. **[既にインストール済み]** をタップするか、画面の指示に従って Acronis True Image 2017 をコンピュータにインストールします。
  4. **[QR コードのスキャン]** をタップし、コンピュータ画面上の QR コードにカメラを向けて、モバイルデバイスがコンピュータに接続されるまで待ちます。

5. Acronis True Image に、バックアップするデータへのアクセスを許可します。すべてのデータ項目を選択すると、バックアップが自動的に開始されます。開始されない場合は、**[バックアップの強制開始]** をタップします。

バックアップ開始後は、コンピュータやモバイルデバイスのどのアプリケーションでも進行状況を確認できますが、エラーおよび警告メッセージが表示されるのはモバイルアプリのみです。

6. (オプション) データの変更 (たとえば、新しい写真など) を自動的にバックアップする場合は、**[自動バックアップ]** 設定がオンになっていることを確認します。この設定がオフの場合、新しいデータは **[バックアップ]** をタップするまでバックアップされません。

コンピュータの Acronis True Image 2017 と Acronis True Image モバイルアプリは両方とも閉じてかまいません。バックアップはバックグラウンドモードで継続されます。

## 2.6.1 モバイルデバイス対応 Acronis True Image

---

お住まいの地域によっては *Acronis Cloud* を使用できない場合があります。詳細は、<http://kb.acronis.com/content/4541> を参照してください

---

モバイルデバイス対応 Acronis True Image を使用すれば、データを Acronis Cloud またはコンピュータ上のローカルストレージにバックアップして、データが損失または破損した場合に復元できます。クラウドストレージへのバックアップには Acronis Cloud のサブスクリプションが必要になります。

### モバイルアプリケーションはどのようなデバイスをサポートしますか？

Acronis True Image は、iOS (iPhone、iPad、iPod) や Android (スマートフォンやタブレット) のオペレーティングシステムが動作するすべてのモバイルデバイスにインストールすることができます。

### 主な特徴

**モバイルデバイス対応 Acronis True Image では次の操作を実行できます。**

- Acronis Cloud またはコンピュータ上のローカルストレージへの個人データのバックアップ
- 新しいデータおよび変更済みデータの自動バックアップ

- すべてのモバイルデバイスからのクラウドバックアップへのアクセス、およびクラウドバックアップからのデータの復元

## これらのアプリはどこにありますか？

Apple App Store または Google Play で、モバイルデバイス対応 Acronis True Image の詳細情報を表示してダウンロードすることができます。

- iOS デバイス用 Acronis True Image:  
<https://itunes.apple.com/jp/app/acronis-true-image-cloud/id978342143>
- Android デバイス用 Acronis True Image:  
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.acronis.acronistrueimage>

## 2.6.2 モバイルバックアップのローカルのバックアップ先

モバイルデータをコンピュータにバックアップする場合、Acronis True Image によってバックアップがデフォルトのフォルダ (*/Library/Application Support/Acronis Mobile Backup Data/acronis-local-data/*) に保存されます。保存先を変更する場合、*acronis-local-data* フォルダは選択した場所に移動されます。この処理の間、進行中のモバイルバックアップは一時停止します。処理が完了すると、自動的に再開します。すべての新しいモバイルデータは新しい保存先のバックアップされます。

---

注意: すべてのモバイルバックアップは常に同一フォルダに保存され、分割保存されることはありません。

---

### モバイルバックアップのローカルの保存先を変更するには:

1. **[バックアップ]** セクションで、モバイルバックアップを右クリックし、**[移動]** をクリックします。
2. 次に**[場所の選択]** をクリックしてバックアップの新しい保存先を選択します。注意: 選択できるのは内蔵ハードドライブの場所のみです。

## 2.7 スケジュール設定

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があります。バックアップを定期的に実行するには、バックアップのスケジュールを作成します。デフォルトでは、Mac は週単位でバックアップされます。



バックアップのスケジュールを作成する手順は、次のとおりです。

1. **[設定]** で、バックアップ間隔を選択し、開始時刻を指定します。

- **スケジュールを設定しない**

このオプションを設定すると、スケジュール設定は無効になります。

- **日単位**

1 日に 1 度または 2 度、指定の時刻または選択した時間間隔でバックアップが開始されます。

- **週単位**

選択した曜日の指定時刻で毎週、バックアップが実行されます。

- **月単位**

選択した日付の指定時刻で毎月、バックアップが実行されます。

2. すべての設定が完了したら、**[適用]** をクリックします。

スケジュールが設定された時刻に Mac の電源が切れている、または Mac がスリープ モードになっている場合は、次に Mac を起動、またはスリープを解除したときにバックアップが実行されます。

## 2.8 バックアップの暗号化

バックアップされたデータを不正アクセスから保護するために、バックアップを業界標準の AES (Advanced Encryption Standard) 暗号化アルゴリズムで 256 ビットの長さのキーを使用して暗号化できます。

---

注意:既存のバックアップのバックアップ暗号化オプションを設定または変更することはできません。

---

**バックアップを暗号化する手順は、次のとおりです。**

1. 最初にバックアップ処理を設定する際に、**[設定]** アイコンをクリックして、**[暗号化]** をクリックします。
2. バックアップ用のパスワードを対応するフィールドに入力し、**[OK]** をクリックします。

パスワードはできる限り想像しにくいものにするため、8 文字以上の、アルファベット (大文字と小文字の両方を使用することが望ましい) と数字を含むものにしてください。パスワードを取得することはできません。バックアップの保護に指定したパスワードは記憶してください。

## 2.9 バックアップ保持ルール

手動またはスケジュールでバックアップ処理が実行されるたびに、Acronis True Image 2017 ではバックアップの保存先に新しいバックアップ バージョンが作成されます。デフォルトでは、Acronis True Image 2017 は最新の 20 個のバージョンを保存します。このルールは、Acronis Cloud、およびローカルやネットワークのフォルダの両方に適用されます。21 個目のバージョンを作成するときに、Acronis True Image 2017 によってバックアップの最も古いバージョンが自動的に削除されます。デフォルト値を変更して、バックアップバージョンの数に異なる制限を設定できます。



バージョンの数に加えて、バージョンの保存期間も制限できます。**[次の期間を超えたバージョンを削除する]** チェックボックスをオンにし、バージョンを保管する期間を指定します。指定した期間を超過したバージョンは、すべて自動的に削除されます。

## 2.10 バックアップからの項目の除外

バックアップを開始する前に、バックアップする必要のないデータを除外することでバックアップ サイズを縮小できます。

ファイルやフォルダを次の方法で除外することができます。

- **手動（すべてのバックアップから）**



項目を除外するには、該当のファイルを明確に指定するか、マスクを使用します。

## ■ 自動（バックアップから Acronis Cloud へ）

Acronis True Image 2017 によってバックアップ ソースが分析され、サードパーティ製のクラウド ストレージからダウンロード可能なローカル データを除外するように推奨されます。

## 手動で項目を除外する

手動でファイルやフォルダを除外するには、次の操作を実行します。

1. バックアップの設定時に、[設定] をクリックして、[除外] をクリックします。



2. プラス記号をクリックして、次のいずれかをクリックします。

## ■ 特定のファイルまたはフォルダを除外する

除外する項目を参照して選択し、[除外] をクリックします。

## ■ マスクごとに除外する

ワイルドカード文字（\* および ?）を使用して除外マスクを入力し、[除外] をクリックします。

除外マスクの例:

- \*.ext: .ext の拡張子を持つすべてのファイルが除外されます。

- `??name.ext`: 拡張子が `.ext` のファイルで、合計 6 文字（最初の 2 文字が任意の文字（??）で、残りの部分が `name`）のファイル名を持つすべてのファイルが除外されます。

3. **[デジタル署名されたファイルは認証しない]** チェックボックスをオンまたはオフにします（認証バックアップの場合にのみ使用できます）。

認証バックアップの主な目的は、個人ファイルを保護することです。そのため、デジタル認証されたシステムファイル、アプリケーションファイル、その他のファイルをバックアップする必要はありません。これらのファイルを除外するには、対応するチェックボックスをオンにします。

4. **[OK]** をクリックします。

## リカバリ可能なデータをオンライン バックアップから除外

Acronis True Image 2017 では、Google Drive や Dropbox などのサードパーティ製クラウド サービスにアップロード済みまたは同期済みのローカル データを除外することができるようになりました。このデータは既に確実に保護されており、コンピュータへのダウンロードも簡単に実行できます。そのため、Acronis Cloud へのアップロードは不要になりました。これらのデータを除外してバックアップ サイズを縮小し、バックアップ処理の速度を向上させることができます。

次のサービスで保護されているデータを除外できます。

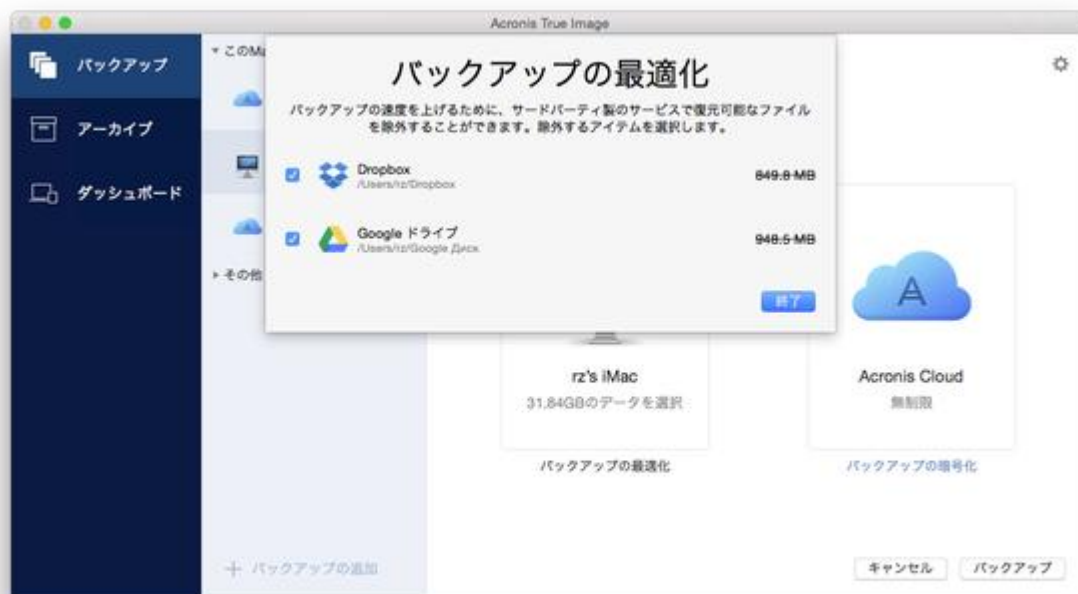
- iTunes
- Dropbox
- Microsoft OneDrive
- Google Drive
- BoxSync
- Yandex.Disk
- SugarSync

次の条件を満たしている場合にのみ、Acronis True Image 2017 によってデータの除外が推奨されます。

- サードパーティ製のサービスが現在有効化されている。
- 対応するフォルダに 250 MB を超えるデータが保存されている。

バックアップから項目を除外するには、次の操作を実行します。

1. バックアップ処理を開始する前に、バックアップ ソースのアイコンの下にある **バックアップの最適化** をクリックします。



2. 除外する項目の横にあるチェックボックスをオフにして、**終了** をクリックします。

## 2.11 バックアップのネットワーク設定

Acronis Cloud にバックアップを作成すると、各国の Acronis データ センターの 1 つにデータがアップロードされます。はじめに、データセンターは、Acronis アカウントの作成時の場所に最も近い場所が指定されます。それ以降は、デフォルトの場合、オンライン バックアップや同期済みファイルは同じデータ センターに保存されます。

他の国に居住している場合、またはデフォルトのデータ センターが現在地から最も近い場所ではない場合、バックアップ用のデータ センターを手動で設定することをお勧めします。データのアップロード速度を大幅に高めることができます。

---

注意:既存のバックアップに対しては、データセンターを変更できません。

---

データセンターを選択するには、次の手順を実行します。

1. オンライン バックアップの設定時に、**[設定]** をクリックして、**[詳細]** をクリックします。



2. 現在地から最も近い国を選択し、**[OK]** をクリックします。

## データのアップロード速度

Acronis Cloud、ネットワークドライブ、またはFTPにデータをバックアップする場合、Acronis True Image 2017の接続速度を変更できます。速度の低下を気にすることなくインターネットやネットワークリソースを使用できる接続速度を設定します。

接続速度を設定する場合は、次のいずれかのオプションを選択します。

### ■ 最適

データ転送速度は、Acronis True Image 2017によって変更されません。

### ■ 最大（オンラインへのバックアップ時にのみ選択可能）

このオプションを選択すると、アップロードアップロード処理速度が大幅に向上しますが、一方で、他のアプリケーションのインターネット接続速度が低下します。この最適化メカニズムによってデータが細分化されて、それらの細かいデータが複数のネットワーク接続を経由してアップロードされます。ターゲットのAcronisデータセンターで、

細分化されたデータが元の状態に再構築されてから、クラウドストレージに保存されます。

- **カスタム**

データのアップロード速度の最大値を指定できます。

## 2.12 Acronis Cloud とは

### リモートストレージ

Acronis Cloud は、バックアップとアーカイブを保存するために使用できる安全なリモートストレージです。ファイルはリモート ストレージに保存されているため、災害やデータ破損が発生した場合、Mac 全体の内容をリカバリできます。

Acronis True Image for Windows をご使用の場合は、ファイル バックアップ、ディスクイメージ、Acronis Cloud に同期済みのファイルのバージョンを保存することもできます。

**Acronis Cloud の使用を開始する手順は、次のとおりです。**

1. Acronis True Image 2017 を起動します。
2. アカウントがない場合は、Acronis アカウントを作成します 『37ページ 』。
3. **[ファイル]** メニューで、**[Acronis Cloud Storage]** をポイントし、**[試用を開始]** または **[サブスクリプションの購入]** をクリックします。

### ウェブ アプリケーション

また、Acronis Cloud は、Acronis Cloud に保存したデータのリカバリと管理に使用できるウェブ アプリケーションでもあります。インターネットに接続されている Mac または PC を使用してアプリケーションを操作することができます。

アプリケーションを使用するには、<https://www.acronis.co.jp/my/online-backup/> にアクセスし、アカウントにログインして、**[データを今すぐリカバリする]** をクリックします。

#### 2.12.1 Acronis アカウントの作成

Acronis Cloud サービスを使用するには、Acronis アカウントが必要です。

**Acronis アカウントを作成する手順は、次のとおりです。**

1. Acronis True Image 2017 を起動します。
2. バックアップの保存先として Acronis Cloud を選択します。ログイン ウィンドウが開きます。
3. **[アカウントの作成]** をクリックします。
4. 登録フォームに入力します。

---

個人データを安全に維持するために、アカウント用の強力なパスワードを選択して、悪意のある第三者に知られないように保護し、時々変更してください。

---

5. **[アカウントの作成]** をクリックします。
6. 登録した電子メール アドレスにメッセージが送信されます。このメッセージを開き、アカウントの作成を確認して登録を完了します。

## 2.12.2 Acronis Cloud のサブスクリプション

Acronis Cloud を使用する Acronis True Image 2017 機能（オンラインバックアップ、クラウドアーカイブ、データ同期など）を使用する場合は、Acronis Cloud Storage へのサブスクリプションが必要です。サブスクリプションを申し込むには、まず Acronis True Image 2017 を起動し、[ファイル] メニューに移動します。次に[Acronis Cloud Storage] をポイントし、試用版のサブスクリプションを開始するか、製品版のサブスクリプションを購入するかを選択します。

---

Acronis Cloud は、公正使用ポリシーの対象になります。詳細については、次の記事を参照してください。 <https://kb.acronis.com/atih2017/fairusage>。

---

### 試用版

試用版を有効化すると、マイアカウントに Acronis Cloud の 1,000 GB のストレージと 30 日間の無料サブスクリプションが自動的に割り当てられます。試用版のサブスクリプションの期限が切れた後 30 日間、Acronis Cloud はリカバリ専用モードで動作します。この期間が過ぎると Acronis Cloud サービスは利用できなくなり、Cloud のデータはすべて削除されます。

## 製品版

### 製品版の Acronis Cloud Storage を購入する手順:

1. Acronis True Image 2017 を起動します。
2. [ファイル] メニューで、[Acronis Cloud Storage] をポイントし、[サブスクリプションの購入] をクリックします。
3. 画面の指示に従って購入手続きを進めます。

Acronis ウェブサイトで製品版のサブスクリプションを購入することもできます。

## 2.13 Parallels Desktop のサポート

### Parallels Desktop とは

Parallels Desktop とは、特別な仮想環境を使用することで、Mac 上で別のオペレーティングシステムを実行できるアプリケーションです。通常は Windows を実行するために使用されますが、Mac OS X、Linux、Google Chrome OS などのオペレーティングシステムを実行することもできます。詳細については、Parallels の Web サイト（<http://www.parallels.com/jp/products/desktop/>）を参照してください。

### Acronis True Image 2017ではParallels Desktop仮想マシンがどのように処理されるのですか？

Acronis True Image 2017 では、Parallels Desktop 9 以降で作成した仮想マシンが完全サポートされています。Mac をバックアップすると、仮想マシンもバックアップされます。Mac のリカバリ時に、仮想マシンがバックアップ開始時の状態に戻ります。リカバリ後も、仮想マシンはすべて一貫性を維持し、起動可能です。

### どのように動作しますか？

バックアップを実行するたびに、Acronis True Image 2017 は、バックアップ対象として選択されたディスクまたはフォルダに保存されているすべての Parallels Desktop 仮想マシンのスナップショットを作成します。これらのスナップショットは、Mac のリカバリ時にタイムポイントとして使用されます。作成済みのスナップショットがバックアップ内に保存されると、スナップショットは Mac から自動的に削除されます。

## どの仮想マシンがバックアップされますか？

Acronis True Image 2017 は、次の仮想マシンをすべてバックアップします。

- バックアップされているディスクに保存されている仮想マシン
- Parallels Desktop アプリケーションに追加されている仮想マシン
- 現在実行中、停止中、および一時停止中の仮想マシン

## 仮想マシンを復元する方法

Parallels Desktop 仮想マシンを起動可能に保つには、Mac 全体を復元します。詳細については、「Mac のリカバリ 『47ページ 』」を参照してください。

それ以外の場合は、復元後に仮想マシンが起動しません。元どおり起動可能にするには、recreate\_pd\_hdd.sh スクリプトを実行します。Acronis True Image 2017 以降、このスクリプトが製品に付属しており、/Applications/Acronis True Image.app/Contents/MacOS/recreate\_pd\_hdd.sh にあります。以前のバージョンを使用している場合は、

[https://kb.acronis.com/system/files/content/2016/08/49198/recreate\\_pd\\_hdd.zip](https://kb.acronis.com/system/files/content/2016/08/49198/recreate_pd_hdd.zip) からスクリプトファイルをダウンロードしてください。

### スクリプトを実行するには、次のようにします。

1. スクリプトの.zip ファイルを解凍します。
2. ターミナルを開きます。
3. `bash "[script_path]" "[vm_path]"`と入力します。ここで、
  - [script\_path]はスクリプトファイルのパス。
  - [vm\_path]は復元される仮想マシンファイルが入っているフォルダのパス。

たとえば、次のようになります。

```
bash "/Applications/Acronis True Image.app/Contents/MacOS/recreate_pd_hdd.sh"  
"/Users/John/Downloads/My Windows Virtual Machine.pvm"
```

## 制限

Boot Camp パーティションを使用するように Parallels Desktop 仮想マシンを構成している場合、次の制限事項に注意してください。

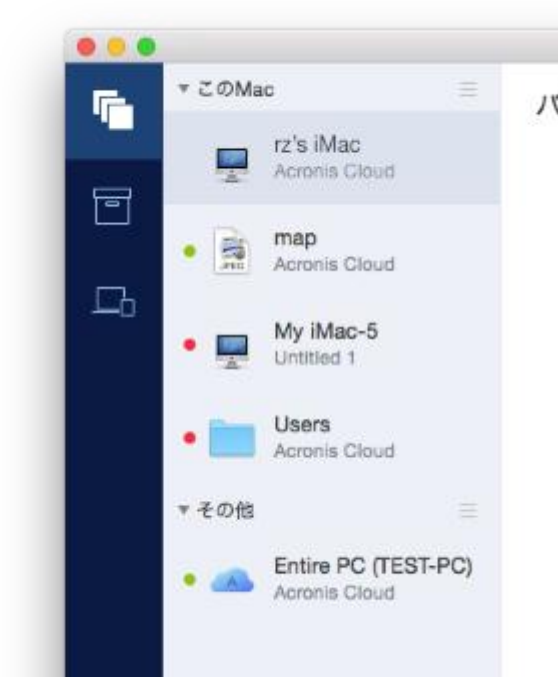


- 仮想マシンが実行中の場合、Boot Camp パーティションのバックアップはほとんどのケースで失敗します。
- 仮想マシンが一時停止中の場合、Boot Camp パーティションのバックアップは成功しますが、バックアップからの復元はほとんどのケースで失敗します。
- 仮想マシンが一時停止中の場合、Boot Camp パーティションへの復元は失敗します。かわりに、Boot Camp パーティションを削除して、これをバックアップから未割り当て領域に復元します。





## 2.14 バックアップリストアイコン

バックアップリストで作業している間は特別なアイコンが表示されます。各アイコンは次の情報を示します。







- バックアップの種類
- バックアップの現在の状態



バックアップの種類アイコン:

アイコン	説明
	Mac 全体のバックアップ <small>注意:このアイコン表示は Mac の種類により異なります。</small>
	ディスクレベルのバックアップ
	フォルダまたは複数のファイルからなるファイルレベルのバックアップ
	単一のファイルからなるファイルレベルのバックアップ

バックアップの状態表示:

アイコン	説明
	バックアップが正常に完了しました。
	バックアップはキューに入れられています。
 (点滅)	バックアップが進行中です。
	バックアップはユーザーにより一時停止されました。
	前回のバックアップに失敗しました。
	バックアップは警告を伴って完了しました。

## 2.15 リスト内でのバックアップの並べ替え

デフォルトでは、バックアップは作成日の新しい順に並べ替えられます。順序を変更するには、バックアップリストの上部にある並べ替えの種類から適切なものを選択します。次の選択肢があります。

コマンド		説明
並べ替え基準	名前	このコマンドは、すべてのバックアップをアルファベット順に並べ替えます。  順序を逆にするには、 <b>[Z→A]</b> を選択します。
	作成日	このコマンドは、すべてのバックアップを新しい順に並べ替えます。  順序を逆にするには、 <b>[古い順]</b> を選択します。
	アップ デート 日	このコマンドは、すべてのバックアップを最新の日付順に並べ替えます。バックアップバージョンが新しいほど、リストの上位に配置されます。  順序を逆にするには、 <b>[参照頻度の低い順]</b> を選択します。
	サイズ	このコマンドは、すべてのバックアップをサイズの大きい順に並べ替えます。  順序を逆にするには、 <b>[小さい順]</b> を選択します。
	対象の 種類	このコマンドは、すべてのバックアップを対象の種類ごとに並べ替えます。順序は次のとおりです。PC 全体のバックアップ、ディスクバックアップ、ファイルバックアップ、ノンストップバックアップ。
	保存先 の種類	このコマンドは、すべてのバックアップを保存先の種類ごとに並べ替えます。順序は次のとおりです。内部ディスクドライブ、外付けディスクドライブ、NAS デバイス、ネットワーク共有、Acronis Cloud。

### 3 ブータブル レスキュー メディアの作成

ブータブル レスキュー メディアとは、ブート ファイルが格納されているリムーバブル ドライブです。Mac が起動しない場合は、ドライブを使用して Acronis リカバリ環境を起動し、作成済みのバックアップから Mac をリカバリします。

まだバックアップを用意していない場合は作成してください。詳細については、「ローカルストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ 『17ページ 』」および「Acronis Cloud へのバックアップ 『19ページ 』」を参照してください。

---

 ブータブル メディアを使用することが、Acronis True Image 2017 のバックアップから Mac をリカバリする唯一の方法です。

---

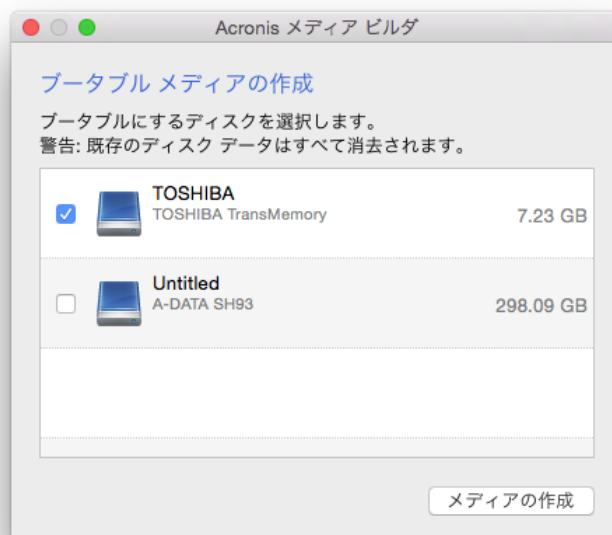
**Acronis ブータブル レスキュー メディアを作成する手順は、次のとおりです。**

1. Mac にリムーバブル ドライブを接続します。

ドライブには 4 GB（またはそれ以上）の空き容量が必要です。具体的には、外付けハードディスク ドライブや USB フラッシュ ドライブを使用することができます。CD および DVD メディアはサポートされていないのでご注意ください。

2. Acronis True Image 2017 を起動します。
3. **[ファイル]** メニューの **[ブータブル メディアの作成]** をクリックします。[Acronis メディア ビルダ] ウィンドウが開きます。

4. ブータブルにするドライブを選択します。



5. **[メディアの作成]** をクリックします。ドライブが空でない場合は、Acronis True Image 2017 によって、ドライブに保存されているすべてのデータが削除されることを確認するように求められます。確認するには、**[消去]** をクリックします。
6. 処理が完了したら、メディアを取り外して安全な場所で保管します。メディアにデータを保存することはできますが、Acronis ブート ファイルは削除したり変更しないようにしてください。

---

Mac OS X を新しいバージョンにアップグレードするたびに、新しいレスキュー メディアを作成することをお勧めします。作成しなかった場合、レスキュー メディアが正常に機能しなくなることがあります。

---

## 4 リカバリ

### In this section

Mac を復元するタイミング.....	46
Mac の復元.....	47
ローカル バックアップからのファイルのリカバリ.....	50
Acronis Cloud からのファイルのリカバリ .....	51
バックアップの内容の検索.....	53

### 4.1 Mac を復元するタイミング

コンピュータが起動しない、または Mac OS X や一部のアプリケーションが正常に動作しない場合は、ディスク イメージからオペレーティング システムを復元するタイミングといえるでしょう。最初に、問題の原因を特定することをお勧めします。

システム エラーの原因には、2 つの基本的な要因があります。

- **ハードウェア障害**

この場合は、ハードウェア メーカーのサービス センターに問い合わせることをお勧めします。

- **オペレーティング システム、アプリケーション、またはデータの損傷**

障害の原因がウィルス、マルウェア、システム ファイルの損傷である場合は、バックアップからシステムを復元します。詳細については、「Mac の復元 『47ページ 』」を参照してください。

**問題の原因を特定する手順は、次のとおりです。**

1. ケーブル、コネクタ、外付けデバイスの電源などを確認します。
2. Mac を再起動します。Mac の起動中に **Option** キーを押し続けます。復元メニューが表示されます。
3. 一覧から **[ディスク ユーティリティ]** を選択し、**[続行]** をクリックします。
4. 確認するディスクを選択し、**[First Aid]** をクリックします。

ディスク故障の可能性がディスク ユーティリティによって示された場合は、ディスクの物理的な状態に原因があります。たとえば、不良セクタが含まれている可能性があります。可能な限り早くディスクをバックアップして置き換えることをお勧めします。

5. **[ディスクを検証]** をクリックします。

- エラーが存在する場合は、**[ディスクを修復]** をクリックします。ディスクが正常であること、または修復されたことがディスク ユーティリティによって示された場合は、Mac を再起動し、通常の使用を継続します。エラーが解消されない場合は、Acronis True Image バックアップから Mac を復元します。詳細については、「Mac の復元 『47ページ 』」を参照してください。
- ディスクユーティリティでエラーが検出されなかった場合は、Acronis True Image バックアップから Mac を復元します。詳細については、「Mac の復元 『47ページ 』」を参照してください。

## 4.2 Mac の復元

Mac が起動しない、または正常に動作しない場合は、次の手順を実行して Mac を復元します。

**Mac を復元する手順は、次のとおりです。**

1. 次のものが用意されていることを確認してください。

- 作成済みの Acronis True Image バックアップ。バックアップがない場合は復元を実行できません。詳細については、「ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ 『17ページ 』」および「Acronis Cloud へのバックアップ 『19ページ 』」を参照してください。
- Acronis ブータブル レスキュー メディア。用意していない場合は、Mac で Acronis True Image 2017 を起動し、可能な限り早くメディアを作成してください。詳細については、「ブータブル レスキュー メディアの作成 『44ページ 』」を参照してください。

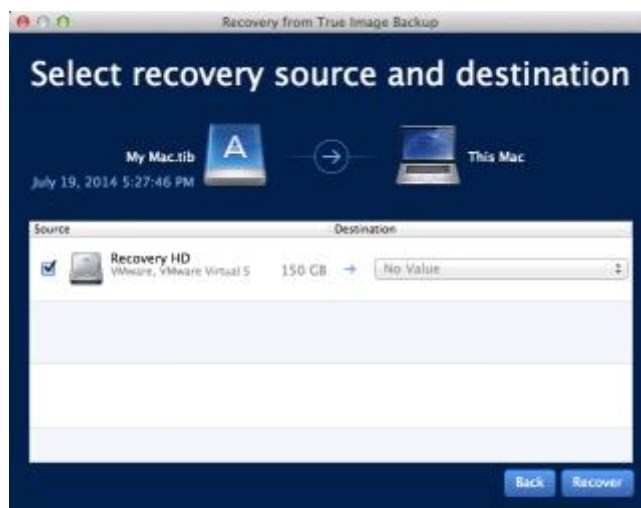
2. Mac にブータブル メディアを接続します。

3. Mac を起動または再起動します。Mac の起動中に **Option** キーを押し続けます。ブート メニューが表示されます。

4. 起動元のデバイスとして Acronis メディアを選択します。**OS X のユーティリティ**の一覧が表示されます。



5. **[Acronis True Image のバックアップから復元]** を選択し、**[続行]** をクリックします。
6. 表示されたウィンドウで、バックアップの場所を選択します。
- **ローカルストレージまたはネットワークストレージ:** バックアップを選択して、**[開く]** をクリックします。
  - **Acronis Cloud:** Acronis アカウントにサインインし、バックアップを選択して **[開く]** をクリックします。
7. 一覧から Mac の復元に使用するバックアップのバージョンを選択して、**[次へ]** をクリックします。選択したバージョンの内容が表示されます。
8. 復元対象のパーティションの横にあるチェックボックスをオンにします。





9. 各パーティションの復元先を選択します。
10. 復元を開始するには、**[復元する]** をクリックし、復元先のパーティションにあるデータをすべて消去することを確認します。
11. 復元が完了したら、Mac を再起動します。

## 4.2.1 Boot Camp パーティションに関する FAQ

- **Boot Camp パーティションをバックアップするにはどうすればよいですか？**

Boot Camp がインストールされているハード ドライブをバックアップします。バックアップには、ドライブに保存されているすべてのデータ (Boot Camp パーティションを含む) が格納されます。

- **Boot Camp パーティションを個別にバックアップすることはできますか？**

Acronis True Image 2017 ではディスク レベルのバックアップのみを作成することが可能なため、個別にバックアップすることはできません。代替の方法として、Boot Camp パーティションが含まれているハード ドライブをバックアップすることができます。

- **Boot Camp パーティションをリカバリするにはどうすればよいですか？**

リカバリはブータブル メディア環境で実行できます。リカバリ元およびリカバリ先を選択するときに、一覧表示されるパーティションをすべて選択します。この操作により、ハード ドライブ全体がリカバリされます。Boot Camp パーティションのみをリカバリするには、該当のパーティションの横にあるチェックボックスをオンにして、それ以外のチェックボックスをオフにします。

- **リカバリを実行する前に Boot Camp パーティションのサイズを変更することはできますか？**

Boot Camp パーティションのサイズはバックアップ時と同じであるため、サイズを変更することはできません。

- **Boot Camp パーティションのリカバリ先として選択できる場所はどこですか？**

任意のリカバリ先を選択できますが、Boot Camp パーティション自体にリカバリを実行することを強くお勧めいたします。

- **バックアップ済みの Boot Camp パーティションから特定のファイルをリカバリすることはできますか？**

その他のファイルのリカバリ方法と同様に、制限なくファイルをリカバリすることができます。

- **ハード ドライブを新しいものに取り替えたいのですが、新しいハード ドライブに OS X、Boot Camp パーティション、すべてのデータのクローンを作成できますか？**

作成できます。クローンを作成するには、次の操作を実行します。

1. 外部のストレージ メディア（Acronis Cloud、USB ドライブ、ネットワーク共有など）にハード ドライブをバックアップします。
2. Mac の電源をオフにし、ハード ドライブを新しいものに交換します。
3. Acronis ブータブル レスキュー メディアを使用して Mac を起動します。
4. バックアップから新しいハード ドライブに Mac をリカバリします。

## 4.3 ローカル バックアップからのファイルのリカバリ

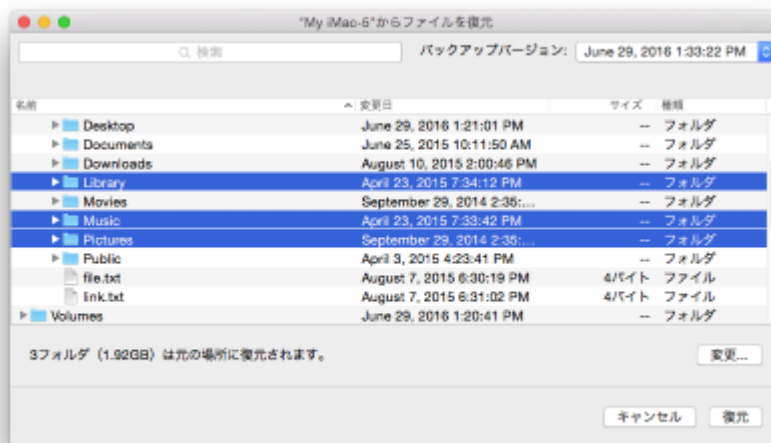
バックアップから特定のファイルやフォルダを復元する必要がある場合は、次の手順を実行します。

### ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージに保存されているバックアップからのリカバリ

**ファイルやフォルダをリカバリする手順:**

1. Acronis True Image 2017 を起動します。
2. 左側のペインで、リカバリするファイルやフォルダが含まれているバックアップを選択します。

3. **[ファイルのリカバリ]** をクリックします。バックアップの内容がウィンドウに表示されます。



4. **[バックアップ バージョン]** の一覧で、バックアップ作成日をもとにバックアップ バージョンを選択します。この手順を行うことで、ファイルおよびフォルダが指定の日付に保存された状態にリカバリされます。
5. リカバリするファイルまたはフォルダを選択します。
6. (オプションの手順) デフォルトでは、選択したファイルやフォルダは元の場所にリカバリされます。リカバリ先の場所を変更するには、**[変更]** をクリックして、リカバリに使用する場所を参照します。
7. **[リカバリする]** をクリックします。処理が完了すると、選択した日時の状態にデータがリカバリされ、元の場所または指定した場所に保存されます。
- 認証バックアップの場合、Acronis True Image 2017 は復元されたファイルの信頼性も検証します。

## 4.4 Acronis Cloud からのファイルのリカバリ

Acronis Cloud に保存されているオンライン バックアップから特定のファイルやフォルダをリカバリできます。この処理を実行するには、まず Acronis Cloud ウェブ アプリケーションを起動する必要があります。

**Acronis Cloud ウェブ アプリケーションを起動するには、次のいずれかを実行します。**

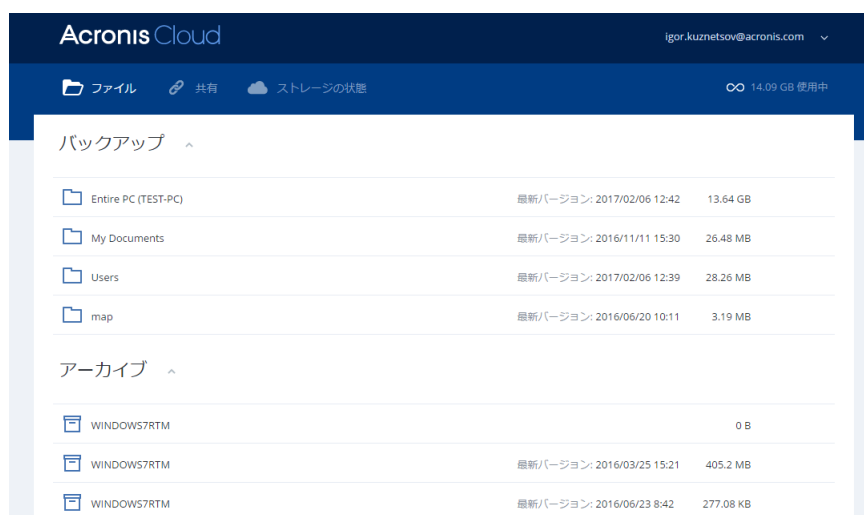
– Acronis True Image 2017 がインストールされている Mac で、次の操作を実行します。

1. Acronis True Image 2017 を起動します。
2. 左側のペインで、リカバリするファイルやフォルダが含まれているバックアップを選択します。
3. 右側のペインで、**[ファイルの参照]** をクリックします。

– インターネット接続のある Mac で、次の操作を実行します。

1. Web ブラウザで <https://www.acronis.com/my/online-backup/webrestore/>を開きます。
2. Acronis アカウントにログインします。

ブラウザでウェブ アプリケーションが起動します。



## 最新バージョンのファイルとフォルダのリカバリ

### ファイルやフォルダをリカバリする手順:

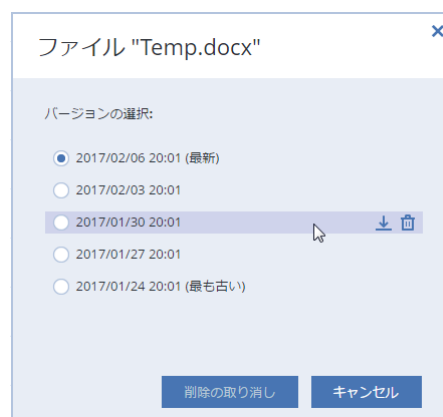
1. Acronis Cloud ウェブ アプリケーションの **[ファイル]** タブで、リカバリするファイルまたはフォルダを選択します。[検索] フィールドを使用することもできます。
2. リカバリを開始するには、**[ダウンロード]** をクリックします。  
データは **[ダウンロード]** フォルダにダウンロードされます。

## 以前のファイル バージョンへのリカバリ

このオプションはフォルダには適用されません。

特定のファイル バージョンをリカバリする手順は、次のとおりです。

1. Acronis Cloud ウェブ アプリケーションの **【ファイル】** タブで、リカバリするファイルを選択します。[検索] フィールドを使用することもできます。
2. ファイルを選択してファイルの右側にある歯車アイコンをクリックし、**【バージョンの表示】** をクリックします。
3. 表示されるウィンドウで、該当するバージョンを選択して **【ダウンロード】** アイコンをクリックします。



デフォルトでは、データは **ダウンロード** フォルダにダウンロードされます。

## 4.5 バックアップの内容の検索

ローカルバックアップからデータを復元する際、選択したバックアップ内に保存された特定のファイルやフォルダを検索できます。

注意: Acronis True Image 2017 は、Acronis Cloud では検索を実行できません。

ファイルやフォルダを検索する手順は、次のとおりです。

1. ローカルストレージまたはネットワークストレージからのファイルのリカバリ 『50ページ』の説明に従ってデータの復元を開始します。
2. 復元するファイルやフォルダを選択する際、**【検索】** フィールドにファイル名またはフォルダ名を入力します。検索結果が表示されます。

一般的な Windows のワイルドカード文字 (\*および?) も使用できます。たとえば、拡張子が「.exe」のファイルを検索するには、「\*.exe」と入力します。「my」で始まる 5 文字のファイル名が付いた「.exe」ファイルをすべて検索するには、「my???.exe」と入力します。

3. デフォルトでは、Acronis True Image 2017 は前の手順で選択したフォルダを検索します。バックアップ全体を検索対象にするには、**[すべてのバックアップ]** をクリックします。

前の手順に戻るには、クロスアイコンをクリックします。

4. 検索完了後、復元するファイルを選択したら、**[次へ]** をクリックします。

---

注意:[バージョン] 項目に注意してください。異なるバックアップバージョンに属するファイルやフォルダを同時に復元することはできません。

---

## 5 家族間のデータ保護

### In this section

家族間のデータ保護とは.....	55
新しいデバイスの追加 .....	56
任意のコンピュータのバックアップ .....	56
オンラインダッシュボードでのデータの復元.....	57
Facebook アカountのバックアップ .....	57
Facebook アカountの復元 .....	59

### 5.1 家族間のデータ保護とは

家族間のデータ保護は、クロスプラットフォーム統合ソリューションであり、Acronis の同一アカウントで共有するすべてのコンピュータ、スマートフォン、およびタブレットの保護ステータスを追跡および制御することができます。これらのデバイスのユーザーは同じアカウントにサインインする必要があるため、通常は家族の全員がユーザーになります。通常、家族の全員がこの機能を使用できますが、家族の中には技術的な経験をお持ちの方がいることも多くなっています。そのため、その方が家族のデータを保護するのに適任と言えます。

複数のデバイスの保護状況の追跡および制御には、ウェブベースのオンラインダッシュボードを使用します。これはインターネットに接続しているコンピュータであればアクセスが可能です。このウェブアプリケーションを使用して、ご家庭でも次のような IT 管理を実行できます。

- Windows、Mac OS X、iOS、および Android が動作する、ご家庭内のすべてのデバイスのバックアップおよび同期の現状を管理。
- 新しいデバイスをリストに追加。
- 任意のコンピュータで任意のバックアップを手動で起動。
- 保護されていないコンピュータの最初の完全バックアップを実行して Acronis Cloud に保存。
- Acronis Cloud にある任意のバックアップ（Windows、Mac、および iOS や Android を実行しているデバイスからのバックアップなど）からデータを復元。

- 製品に関連する問題の一部を解決。

## 5.2 新しいデバイスの追加

オンラインダッシュボードを使用して、デバイスリストに新しいデバイスを追加できます。

**デバイスリストに新しいデバイスを追加するには、次の手順を実行します。**

1. 追加するデバイスから、オンラインダッシュボード (<https://cloud.acronis.com>) を開きます。
2. Acronis のマイアカウントにサインインします。
3. **[デバイス]** タブで、**[デバイスの追加]** をクリックします。
4. Acronis True Image をダウンロードしてインストールします。
5. Acronis True Image を起動して、同じ Acronis アカウントにサインインします。

## 5.3 任意のコンピュータのバックアップ

ウェブベースのオンラインダッシュボードを使用して、同じ Acronis アカウントを共有している任意のコンピュータ（Windows または Mac）をバックアップできます。

デバイスがまだ保護されていない場合は、デフォルト設定を使用してバックアップできます。Acronis True Image 2017 では、デバイスのコンテンツ全体（たとえば、PC 全体のバックアップ）が Acronis Cloud にバックアップされます。デフォルト設定はウェブアプリでは変更できません。設定をカスタマイズする必要がある場合は、そのデバイスで Acronis True Image 2017 を起動し、バックアップを手動で設定します。

**任意のコンピュータをバックアップするには、次の手順を実行します。**

1. <https://cloud.acronis.com> でオンラインダッシュボードを開きます。
2. Acronis のマイアカウントにサインインします。
3. **[デバイス]** タブで、バックアップするデバイスを検索します。デバイスがオフラインの場合は、デバイスの電源がオンになっていることとインターネットに接続されていることを確認します。
4. 次のいずれかを実行します。



- デバイスが以前にバックアップされている場合は、**[今すぐバックアップ]** をクリックします。

Acronis True Image 2017 によって、設定済みのバックアップスキームに基づき、新しいバックアップバージョンが作成されます。

- デバイスがまだバックアップされていない場合は、**[バックアップを有効にする]** をクリックして、バックアップが自動設定されるまで待機し、**[今すぐバックアップ]** をクリックします。

Acronis True Image 2017 で新しい完全バックアップが作成され、Acronis Cloud にアップロードされます。

## 5.4 オンラインダッシュボードでのデータの復元

ウェブベースのオンラインダッシュボードを使用すると、複数のデバイス（Windows、Mac、スマートフォン、タブレットなど）からアップロードされた任意のオンラインバックアップでデータを復元できます。

**オンラインバックアップからデータを復元するには、次の手順を実行します。**

1. <https://cloud.acronis.com> でオンラインダッシュボードを開きます。
2. Acronis のマイアカウントにサインインします。
3. **[デバイス]** タブで、復元するデータのバックアップ元デバイスを検索します。デバイスがオフラインの場合は、デバイスの電源がオンになっていることとインターネットに接続されていることを確認します。
4. **[復元]** をクリックします。
5. 左側のパネルで、バックアップバージョンをバックアップ日時で選択します。
6. 右側のパネルで、復元するファイルおよびフォルダの横にあるチェックボックスをオンにします。
7. **[ダウンロード]** をクリックします。

## 5.5 Facebook アカウントのバックアップ

Acronis True Image 2017 を使用すると、写真、投稿、プロフィール情報、およびその他のデータやアクティビティの消失から Facebook アカウント全体を保護することができます。

。アカウントのコピーを安全な Acronis Cloud にアップロードして、すべてのデバイスからアクセスできます。アップロードした後、データを参照して、特定のアイテムやアカウント全体を復元することができます。

#### **バックアップ対象データ:**

- プロファイル  
名前、電子メール、誕生日、性別、ウェブサイトなどの基本情報。
- タイムライン  
ウォール上の自分の投稿や他の人たちの投稿。
- 写真と動画  
自分のアルバムや、タグ付けされた写真や動画。
- イベント  
招待されているイベントの説明。
- 「いいね！」を押したページ  
「いいね！」を押したページへのリンクと、ページ名および写真。

#### **Acronis Cloud に Facebook アカウントをバックアップする手順:**

1. 次のいずれかを実行してオンラインダッシュボードを開きます。
  - 次のリンクを使用します。 <https://cloud.acronis.com>
  - Acronis True Image 2017 のサイドバーで **[ダッシュボード]**、続いて **[ソーシャルネットワークのバックアップ]** をクリックします。
2. Acronis アカウントでサインインします。
3. サイドバーで **[リソース]**、続いて **[追加]** をクリックして、**[Facebook]** を選択します。
4. **[Facebook のバックアップ]** をクリックします。
5. Facebook アカウントにログインします。
6. **[OK]** をクリックして、Acronis True Image 2017 が Facebook アカウントの情報にアクセスできるようにします。この情報はバックアップ目的にのみ使用されます。
7. バックアップ対象のアイテムを選択し、バックアップのスケジュールを設定して、バックアップを構成します。また、バックアップを暗号化してパスワードで保護することも

できます（Acronis True Image 2017 以降で使用可能）。終了したら、**[適用]** をクリックします。

8. バックアップを開始するには、**[今すぐ実行]** をクリックします。

## 5.6 Facebook アカウントの復元

Acronis True Image 2017 を使用すると、写真、投稿、プロフィール情報、およびその他のデータやアクティビティの消失から Facebook アカウント全体を保護することができます。アカウントデータのクラウドバックアップがある場合、それらのデータを参照して特定のアイテムを復元できます。

### Facebook データを参照して復元する手順:

1. 次のいずれかを実行してオンラインダッシュボードを開きます。
  - 次のリンクを使用します。 <https://cloud.acronis.com>
  - Acronis True Image 2017 のサイドバーで **[ダッシュボード]**、続いて **[ソーシャルネットワークのバックアップ]** をクリックします。
2. Acronis アカウントでサインインします。
3. サイドバーで **[リソース]** をクリックし、Facebook バックアップボックスを見つけます。
4. 次のいずれかを実行します。
  - アカウントデータを復元するには、歯車アイコンをクリックして **[アカウントの復元]** をクリックします。次に、目的のアカウントと復元するアイテムを選択し、プライバシーの設定を行い、**[復元]** をクリックします。
  - 特定のアイテムを復元するには、**[データの参照]** をクリックします。オンラインダッシュボードで、バックアップされたアイテムの一覧が表示されます。これらのアイテムを参照したり、内容を表示できます。また、検索を使用して特定のアイテムを見つけることもできます（一部のデータの種類には未対応）。

アイテムを選択した後、実行する操作を選択できます（データの種類に応じて、一部の操作は使用できないことがあります）。

  - **[元のデータを表示]** — クリックすると、選択したアイテムを Facebook で表示できます。

- **[内容の表示]** — クリックすると、アイテムの詳細を表示したり、アイテムを最大サイズで開くことができます。
- **[復元]** （Acronis True Image 2017 以降で使用可能） — クリックすると、現在の Facebook アカウントまたは別の Facebook アカウントにデータを復元できます。復元するアイテムのプライバシー設定を行うこともできます。
- **[ダウンロード]** — クリックすると、選択したファイルをデバイスにダウンロードできます。
- アイテムのコメント、いいね！、タグ付けされたユーザー、詳細情報を表示します。

## 6 データのアーカイブ

### In this section

データのアーカイブについて .....	61
アーカイブから除外されるもの .....	62
クラウドアーカイブとオンラインバックアップ .....	63
データのアーカイブ作成 .....	64
アーカイブ済みファイルへのアクセス .....	67

### 6.1 データのアーカイブについて

データのアーカイブは、サイズの大きいファイルや使用頻度の低いファイルを Acronis Cloud、NAS、外付けハードドライブ、または USB フラッシュドライブに移動できるツールです。このツールを実行するたびに、選択したフォルダ内のデータが解析されて、Acronis Cloud へのアップロードやローカルストレージへの移動の対象となる推奨のファイルが示されます。アーカイブするファイルやフォルダを選択できます。アーカイブへの移動が完了すると、これらのファイルのローカルコピーは削除されます。これらのファイルへのリンクは、Acronis Drive という特定の場所に保存されます。この場所には、Finder から通常のフォルダとしてアクセスできます。ファイルのリンクをダブルクリックすると、ローカルフォルダに保存されている場合と同じようにファイルが開きます。ファイルが Acronis Cloud にアーカイブされている場合は、最初にファイルがコンピュータにダウンロードされます。ファイルへのアクセスおよび管理は、Acronis Cloud でも問題なく行うことができます。

データのアーカイブの主な機能は次のとおりです。

- **ストレージを解放して空き容量を増やす**

通常、最新の大容量ハードドライブの空き領域は、オペレーティングシステムやアプリケーションではなく、写真やドキュメントなどのユーザーデータによって使用されます。大半のデータは必要に応じて使用するので、常にローカルドライブに保存する必要はありません。データのアーカイブによって、よく使用するファイルのために空き領域を解放できます。

- **クラウドアーカイブとローカルアーカイブ**

アーカイブの保存先の種類を選択することができます。Acronis Cloud、内部ハードドライブなどのローカルストレージ、外付けハードドライブ、NAS、USB フラッシュドライブなどです。保存先として Acronis Cloud を選択するたびに、選択されたデータが同一のクラウドアーカイブに保存されます。新しくアーカイブを作成する代わりに既存のアーカイブを選択することができますが、ローカルアーカイブは互いに独立しており、それぞれ異なる名前、保存先、暗号化の設定などが可能です。ローカルアーカイブの数は制限されていません。

- **すべてのデバイスからクラウドアーカイブへ簡単にアクセス**

Acronis Cloud にファイルをアーカイブした場合、Acronis True Image 2017、Acronis True Image モバイルアプリケーション、および Acronis Cloud ウェブアプリケーションを使用してファイルにアクセスすることができます。これらのアプリケーションは、Windows、Mac OS X、iOS および Android（タブレットとスマートフォン）のデバイスで利用可能です。

- **クラウドアーカイブでのデータ保護**

Acronis Cloud に保存したデータは、破損や災害から保護されます。たとえば、ローカルのハードドライブでエラーが発生した場合、ファイルを新しいハードドライブにダウンロードできます。また、データは暗号化の状態で保存されます。他のユーザーにデータにアクセスされないようにすることができます。

- **ファイルの共有**

Acronis Cloud にファイルをアップロードすると、公開リンクを作成できます。このリンクは、友人とファイルを共有したり、フォーラムやソーシャルネットワークに投稿するときに使用できます。

- **ファイルバージョン**

ファイルの編集と Acronis Cloud へのアップロードを繰り返す場合、Acronis True Image 2017 ではそれぞれのファイルバージョンでの変更がすべて保持されます。前のバージョンのファイルを選択して、デバイスにダウンロードすることが可能です。

## 6.2 アーカイブから除外されるもの

アーカイブのサイズを縮小し、システムの破損のおそれをなくするため、Acronis True Image 2017 では、デフォルトで、以下のデータをアーカイブの対象外としています。

- pagefile.sys
- swapfile.sys
- Network Trash Folder
- System Volume Information フォルダ
- ごみ箱
- .tib ファイル
- .tib.metadata ファイル
- .tmp ファイル
- .~ファイル

完全なリストについては、ナレッジベースの記事（  
<https://kb.acronis.com/ja/content/58297>）を参照してください。

## 6.3 クラウドアーカイブとオンラインバックアップ

Acronis Cloud へのデータのアーカイブはオンラインバックアップと類似していますが、異なる点も多数あります。

	オンラインバックアップ	クラウドアーカイブ
機能の 目的	オペレーティングシステムの破損、ハードウェア障害、個別ファイルの紛失からのデータの保護。	ローカルストレージデバイスのクリーンアップ および Acronis Cloud へのデータの移動。
データ の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ コンピュータ上の各データの全体的な保護（特にオペレーティングシステム）。</li> <li>▪ 使用頻度の高いファイルの保護。</li> </ul>	使用頻度の低いファイルや古いファイル（個人的なドキュメントや写真など）の保護。
ソース データ の選択	手動選択。	手動選択。

ソース データ の処理	ソースデータは元の場所に保持。	ソースデータは元の場所から削除。このことにより、ハードドライブやラップトップが盗難被害にあっても、データが不正に操作されることはありません。
データ の編集 頻度	編集頻度が高いデータの場合はバックアップ。通常、データのアップデートに応じて、バックアップは複数のバージョンが存在します。	ほとんど編集しないデータの場合はアーカイブ。ファイルは、ほとんどの場合、バージョンが作成されません。

## 6.4 データのアーカイブ作成

データのアーカイブ機能により、古いファイルや使用頻度の低いファイルを Acronis Cloud またはローカルストレージに移動してストレージ領域を解放することができます。詳細については、「データのアーカイブについて 『61ページ』」を参照してください。

**データのアーカイブを作成するには、次の手順を実行します。**

1. Acronis True Image 2017 を起動して、**[アーカイブ]** セクションに移動します。



2. (オプションの手順) データのアーカイブ作成機能の概要を確認する場合は、**[はじめに]**のスライドを表示します。



3. アーカイブ対象のファイルを選択するには、次のいずれかの操作を実行します。

- （Finder などから）ファイルを [アーカイブ] 画面にドラッグします。
- **[Finder を参照]** をクリックし、アーカイブ対象のファイルを選択します。



4. [ターゲットの選択] をクリックし、Acronis Cloud、またはアーカイブ対象ファイル用にカスタマイズしたローカルの保存先を選択します。

5. （オプションの手順）その他の設定を行うには、歯車アイコンをクリックします。次の操作を実行できます。

- パスワードや暗号化を使用してアーカイブを保護するには、**[設定]** → **[暗号化]** の順にクリックします。詳細については、「アーカイブの暗号化 『67ページ 』」を参照してください。
- 特定のデータセンターを選択し、アップロード速度を設定するには、**[設定]** → **[詳細]** の順にクリックします。詳細については、「Acronis Cloud データ センターの選択 『35ページ 』」を参照してください。

6. **[アーカイブを開始]** をクリックします。

7. アーカイブにファイルが移動されると、ファイルはコンピュータから自動的に削除されます。

## 6.4.1 アーカイブのネットワーク設定

### データセンター

Acronis Cloud にファイルをアーカイブすると、各国の Acronis データセンターの 1 つにファイルがアップロードされます。はじめに、データ センターは、Acronis アカウントの作成時の場所に最も近い場所が指定されます。デフォルトではそれ以降、アーカイブされたファイルは同じデータセンターに保存されます。

他の国に居住している場合、またはデフォルトのデータセンターが現在地から最も近い場所ではない場合、アーカイブ用のデータセンターを手動で設定することをおすすめします。データ アップロード速度を大幅に高めることができます。

---

注意:アーカイブ処理の開始後にデータセンターを変更することはできません。

---

**データセンターを選択するには、次の手順を実行します。**

1. 最初にアーカイブ処理を設定する際に、**[設定]** アイコンをクリックして、**[詳細]** をクリックします。
2. 現在地から最も近い国を選択し、**[OK]** をクリックします。

### データのアップロード速度

Acronis Cloud にデータをアーカイブする場合、Acronis True Image 2017 の接続速度を変更できます。速度の低下を気にすることなくインターネットを使用できる接続速度を設定します。

**接続速度を設定する場合は、次のいずれかのオプションを選択します。**

- **最適**

データ転送速度は、Acronis True Image 2017 によって変更されません。

- **最大** (オンラインへのバックアップ時にのみ選択可能)

このオプションを選択すると、アップロードアップロード処理速度が大幅に向上しますが、一方で、他のアプリケーションのインターネット接続速度が低下します。この最適化メカニズムによってデータが細分化されて、それらの細かいデータが複数のネットワーク接続を経由してアップロードされます。ターゲットの Acronis データセンターで、

細分化されたデータが元の状態に再構築されてから、クラウドストレージに保存されます。

- **アップロードの制限速度**

データのアップロード速度の最大値を指定できます。

## 6.4.2 アーカイブの暗号化

アーカイブされたデータを不正アクセスから保護するために、アーカイブを業界標準の AES (Advanced Encryption Standard) 暗号化アルゴリズムで 256 ビットの長さのキーを使用して暗号化できます。

---

注意:既存のアーカイブのアーカイブ暗号化オプションを設定または変更することはできません。

---

**アーカイブを暗号化する手順は、次のとおりです。**

1. 最初にアーカイブ処理を設定する際に、**[設定]** アイコンをクリックして、**[暗号化]** をクリックします。
2. アーカイブ用のパスワードを対応するフィールドに入力し、**[OK]** をクリックします。  
パスワードはできる限り想像しにくいものにするため、8 文字以上の、アルファベット (大文字と小文字の両方を使用することが望ましい) と数字を含むものにしてください。  
パスワードを取得することはできません。アーカイブの保護用に指定したパスワードは控えておいてください。

## 6.5 アーカイブ済みファイルへのアクセス

- ファイルが正常にアーカイブされると、次の方法でアーカイブにアクセスできます。

- **Finder**

Finder を起動し、**[お気に入り]** の **[Acronis Drive]** をクリックします。

ファイルは読み取り専用モードで操作できます。ファイルを変更するには、まずファイルを別のフォルダにコピーします。

- **Acronis Cloud** (クラウドアーカイブの場合のみ)

次のいずれかの方法で、Acronis Cloud ウェブアプリケーションを起動します。

- Acronis True Image 2017 を起動し、**[アーカイブ]** をクリックして、**[ウェブブラウザで開く]** をクリックします。

- <https://www.acronis.co.jp/my/online-backup/>にアクセスし、アカウントにログインして、**[データを今すぐ復元する]** をクリックします。

## 著作権情報

Copyright © Acronis International GmbH, 2002-2017. All rights reserved.

Acronis、Acronis Compute with Confidence、Acronis 復元] マネージャ、Acronis セキュアゾーン、Acronis True Image、Acronis Try&Decide、および Acronis ロゴは、Acronis International GmbH の商標です。

Linux は Linus Torvalds 氏の登録商標です。

VMware および VMware Ready は、VMware, Inc.の米国およびその他の管轄区域における商標および登録商標です。

Windows および MS-DOS は Microsoft Corporation の登録商標です。

ユーザズ ガイドに掲載されている商標や著作権は、すべてそれぞれ各社に所有権があります。

著作権者の明示的許可なく本書を修正したものを配布することは禁じられています。

著作権者の事前の許可がない限り、商用目的で書籍の体裁をとる作品または派生的作品を販売させることは禁じられています。

本書は「現状のまま」使用されることを前提としており、商品性の黙示の保証および特定の適合性または非違反性の保証など、すべての明示的もしくは黙示的条件、表示および保証を一切行いません。ただし、この免責条項が法的に無効とされる場合はこの限りではありません。

本ソフトウェアまたはサービスにサードパーティのコードが付属している場合があります。サードパーティのライセンス条項の詳細については、ルート インストール ディレクトリにある license.txt ファイルをご参照ください。ソフトウェアまたはサービスで使用されているサードパーティのコードおよび関連ライセンス条項の最新の一覧については <http://kb.acronis.com/content/7696>（英語）をご参照ください。

## Acronis の特許取得済みの技術

この製品で使用されているテクノロジーは、1 つ以上の米国特許番号（7,047,380、7,275,139、7,281,104、7,318,135、7,353,355、7,366,859、7,475,282、7,603,533、7,636,824、7,650,473、7,721,138、7,779,221、7,831,789、

7,886,120、7,895,403、7,934,064、7,937,612、7,949,635、7,953,948、  
7,979,690、8,005,797、8,051,044、8,069,320、8,073,815、8,074,035、  
8,145,607、8,180,984、8,225,133、8,261,035、8,296,264、8,312,259、  
8,347,137、8,484,427、8,645,748、8,732,121 および特許出願中)の対象として保護さ  
れています。